

❀ ニュースレター ❀

千葉県の相談支援機関・松戸市内の施設紹介号

❀ ご挨拶 ❀

みなさま、こんにちは。地域保健課 小児慢性担当の保健師です。

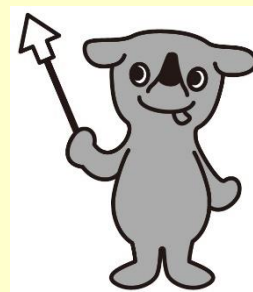
保健所では、小児慢性特定疾病医療受給者証をお持ちの皆様とご家族が、より安心して日々の生活をお過ごしいただけるよう、様々な情報を発信したり、療養上の不安を軽減するための支援をしていきたいと考えています。

今回のニュースレターでは、千葉県が設置している小児慢性受給者等の相談・支援機関と、松戸市和名ヶ谷にあるケアハウス「やまぼうし」をご紹介します。

ここに掲載されている機関はごく一部ではありますが、みなさまの疑問や不安の解決の手助けになることを願っております。

❀ この号の内容 ❀

- 1 ご挨拶
- 2 移行期医療支援センター
- 3 千葉県医療的ケア児等支援センター「ぽらりす」
- 4 ケアハウス やまぼうし



このニュースレターに関するお問い合わせ
〒271-8562

千葉県松戸市小根本7
千葉県松戸保健所 地域保健課 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業担当
TEL 047-361-2138 (平日:8:30~17:15)

移行期医療支援センター

☆「移行期医療」とは・・・

小児期発症の病気を抱えたまま成人年齢に達した方が年齢に見合った包括的な医療を受けられるようにすることです。

千葉県では、千葉大学病院が令和元年10月1日から指定されています。

☆どんなことをしている？

- 患者・家族の相談対応、医療機関への情報提供
- 成人期・小児期医療者・支援者向け研修会の実施
- 移行期医療についての広報活動



★移行期医療についてのパンフレット

☆利用方法は？

現在かかりつけの病院の主治医または看護師に相談の上、下記の電話番号に連絡してください。

代表番号に電話後、オペレーターに「移行期医療支援センター相談」と伝えてください。

★千葉大学病院公式 YouTube にて、

移行期医療について解説中！

移行期医療についてご興味のある方はぜひご覧ください。



移行期医療支援センター
 〒260-8677
 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1 千葉大学病院 患者支援部内
 TEL 043-222-7171 (代表)

千葉県医療的ケア児等支援センター「ぼらりす」



☆「医療的ケア児」とは・・・

- 日常的にたんの吸引や経管栄養、呼吸器管理が必要な子どものことです。
- 医療的ケア児が年齢にふさわしい日常生活が送れるよう、また家族の負担をできるだけ軽減できるように令和3年9月から施行されている医療的ケア児及びその家族を支援に関する法律(医療的ケア児支援法)を受けて、令和4年7月に「千葉県医療的ケア児等支援センター」が開設されました。
- ぼらりすは、医療的ケア児者と重症心身障害児者等の成長発達が保障され、あたりまえの暮らしができるよう、ご本人と家族・支援者を見守り支援します。空を見上げると、いつも北の空で光を放つ北極星のように、千葉県のどこに暮らしていても迷った時に光を放ち道標となることを目指します。

☆どんなことをしている？

- 本人、家族からの相談対応(電話、メール、面談)
- 憩いの場の提供、家族の交流の場の提供(家族支援ルーム)
- 地域で医療的ケア児等を支援する、専門職(医師等)の研修
- ガイドブック等の発行、お役立ち情報の発信
等



☆利用方法は？

電話、メール、面談にて相談を受け付けています。

電話の場合は、「医療的ケア児等支援センターぼらりす宛の電話」と伝えてください。

★千葉県医療的ケア児等支援センターホームページからガイドブックがダウンロードできます。



ガイドブック「ぼらりすのみちしるべ」

ぼらりすについて、レスパイト利用等ができる医療機関の一覧や医療的ケア児の一日等が掲載されています。

URL <https://www.chiba-reha.jp>

(千葉リハビリテーションセンター HP)

千葉県医療的ケア児等支援センター「ぼらりす」

〒266-0005

千葉県千葉市緑区誉田町1-45-2 千葉リハビリテーション病院2階

TEL 043-291-1831 (内線277) FAX 043-291-1853

メール polaris@chiba-reha.jp 開所日 平日 9:00~17:00

ケアハウス やまぼうし

☆日本初の医療的ケア児に対応する 福祉型短期入所施設

2022年7月1日開所。

できるだけ、普段の生活をよく知るスタッフがお世話をし、いつも関わっている看護師がケアし、具合が悪くなったら、かかりつけの医師が対応する。そんな環境をつくります。

☆やまぼうしのイメージはまつどのおばあちゃんち

- 医療的ケアが必要な子どもと暮らす家族が、ちょっとだけ離れてリフレッシュできる支援の提供
- 医療的ケアが必要な子どもたちが家族と一緒に生活を続けるために、安心して預けられる、居られる、人と場所の提供

☆やまぼうしの特徴

- 設計時から利用者の声を反映させている
- 保育士、介護職が関与し、遊びがある
- 日常生活の延長として利用することも可能等



★施設の外観やお部屋の様子等を <https://yamabohshi.com/> で公開しています。
また、お問い合わせ先等の電話番号も掲載されています。

外観



エントランス

レスパイトハウス やまぼうし

〒270-2232

千葉県松戸市和名ヶ谷1230-1

TEL 047-710-7757 (代表)

FAX 047-710-5750

URL <https://yamabohshi.com/>